

必ずお読みください

ライブストリーミングミキサー
「M-SMIX1」
取扱説明書 兼 保証書

使用上のご注意

●火傷などの怪我や火災の原因となりますので、本製品に水や異物が付着した状態で使用しないでください。●本製品に外部からの強い圧力がかかる状態では使用しないでください。●本製品を水気のある場所、ほこりの多い場所、直射日光や高温多湿、静電気や磁気の近くなどでは使用しないでください。●乳幼児の手の届かないところに保管してください。●本製品を使用する前に、端子にほこり・液体等の異物がいないか十分にご確認ください。水漏れ充電、異物混入充電は火災や感電、故障の原因となります。

取扱説明書 兼 保証書

この度は、ライブストリーミングミキサーをお買い求めいただき誠にありがとうございます。こちらの取扱説明書をよくお読みになって、ご利用ください。

本製品を使用したことによるデータの消失などにつきましては、一切保証致しかねます。商品のサポート時に本保証書とお買い上げのレシートなどが必要になりますので大切に保管願います。当社において修理が困難と判断した場合は、同等品と交換させていただきます。

安全上のご注意

■人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別し、説明しています。必ずお守りください。

	してはいけない内容です。		実行しなくてはならない内容です。
---	--------------	---	------------------

 警告 「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です

	異常な音や発熱、異臭がした場合は、すぐに使用を中止して電源を切り、お手を触れず、すぐに販売店または弊社までご連絡ください。
	ご自分で分解・改造・修理はしないでください。けがや火傷、感電の恐れがあります。内部の点検や修理は販売店または弊社にご相談ください。

1

	小さなお子様だけでの使用、乳幼児の手の届くところでの使用および保管は避けてください。けがや火傷、感電の恐れがあります。
	濡れた手で触れたり操作しないでください。また、機器に水などの液体をかけないでください。ショート・感電・故障の原因となります。
	乳幼児の手の届くところには置かないでください。



注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

	本体を投げたり、落とすなど、強い衝撃を与えないでください。機器の破損、故障の原因となったり、けがの原因となる恐れがあります。
	本来の用途以外には使用しないでください。事故や故障の原因となります。
	適切な音量でご視聴ください。
	発光部を直接見ないでください。視力障害などの原因になる事があります。

2

3

無線時の注意

■接続においては、無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用した場合に、接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。

■本書内に記載されているBluetooth 規格における数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

■弊社は、無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩については、一切の責任を負いません。

■Bluetooth と無線 LAN は同じ 2.4GHz 帯の無線周波数を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

無線製品に関して

本製品を下記のような状況でご使用になるのはおやめください。

■心臓ペースメーカーや補聴器など医療機器の近くや医療機関内での利用はおやめください。電磁障害を及ぼし生命の危険があります。

■本製品を交通機関内、特に航空機の中でのご使用はおやめください。機内での電子機器や無線機器の利用が禁止されており、航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因になる恐れがあります。

■本製品を電子レンジの近くでご使用になる事はおやめください。電子レンジをご使用のとき、電磁波の影響によって、無線通信が妨害される恐れがあります。

■本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので、免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の認証ラベルをはがしたり、改ざんなどの行為をする
・本製品を日本国外で使用する

電波に関して

本製品のBluetoothの周波数帯は、電子レンジや医療機器などの産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。

電波に関して

■本製品のご使用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

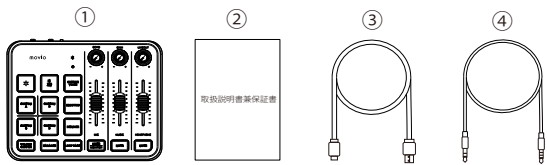
■万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに使用を中止してください。

■その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など、何かお困りのことが発生したときは、弊社までお問い合わせください。

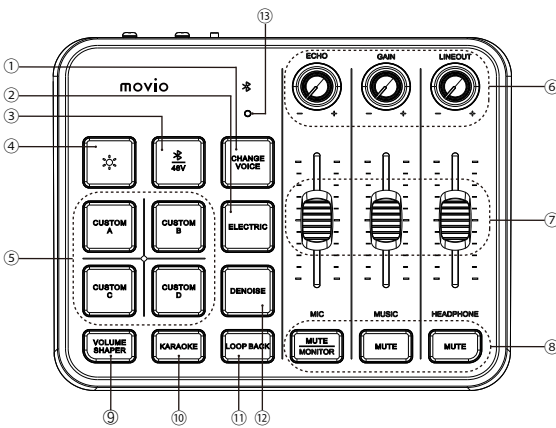
4

パッケージの内容

- ① M-SMIX1 本体 ③ USB ケーブル
② 取扱説明書兼保証書 ④ オーディオケーブル



各部詳細と機能説明



5

- ① マイク音声のサウンドエフェクトを変更します。ボタンを押すごとにエフェクトが切り替わり長押しでオフになります。対応するサウンドエフェクトとライティングパターンは以下です。

男性	女性	ロボット	怪獣	ベビー	エルダー
レッド	イエロー	グリーン	シアン	ブルー	パープル

- ② マイク音声のキーを変更します。ボタンを押すごとにキーが切り替わり長押しでオフになります。対応するキーとライティングパターンは以下です。

A	Ab	Bb	B	C	Db
レッド	オレンジ	イエロー	シャルトリユーズ	グリーン	ブルーグリーン
D	G	Gb	F	E	Eb
シアン	インディゴ	ブルー	パープル	マゼンタ	パープリッシュレッド

- ③ ボタンを単押しすると48V給電を開始します。再度単押しするとオフになります。長押しでBluetooth機能のオンオフを切り替えます。

- ④ ライティングエフェクトが切り替わり、長押しでオフになります。

- ⑤ 音声を録音、呼び出しをするボタンです。2秒長押しするとボタンが点滅し録音がスタートします。単押しすると録音が終了します。録音をしていない状態で単押しをすると録音した音声を再生します。CUSTOM AからCUSTOM Dまでそれぞれ30秒ずつ録音が可能です。

- ⑥ 各ノブのボリュームを調節します。ECHO:マイクエコーの量を調節します。GAIN: CUSTOM A～CUSTOM Dのボリュームを調節します。LINEOUT: LINEOUTに出力されるボリュームを調節します。

6

- ⑦ 各フェーダーのボリュームを調節します。MIC: マイク、インストゥルメント、ヘッドセットに入力に対応しています。MUSIC: LINE IN、Bluetooth入力、PC入力、ゲーム入力に対応しています。HEADPHONE: ヘッドホン、ヘッドセットの音声出力に対応しています。

- ⑧ 各フェーダー直下のミュートボタンを押すことで消音します。MICミュートボタンを3秒押すとマイクモニター機能に切り替わります。マイクモニター機能とは接続した機器を介さず直接ミキサーからヘッドホンへ出力する機能です。

- ⑨ ボリュームシェイパー機能をオンにするとMICの音声信号を検知してMUSICの音量が自動で抑制されます。マイクの音声信号が検知されなくなるとMUSICの音量は元に戻ります。

- ⑩ ボタンを押して、ボーカル除去エフェクトのオン/オフを切り替えます。エフェクトはUSB入力、LINE入力、BT入用に適用されます。※特定の周波数をカットする機能のため、曲によっては効果が効きづらい、全くカットされない場合がございます。

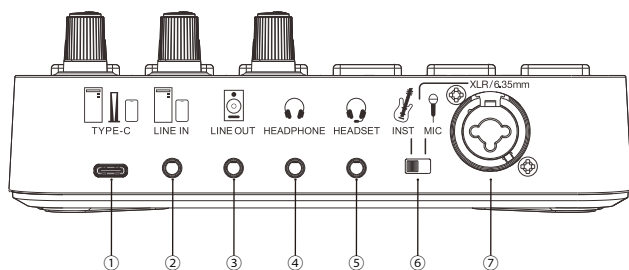
- ⑪ ボタンを押すと、ループバック機能のオン/オフが切り替わります。ループバックを有効にするとUSB入力信号がHEADPHONE、HEADSET、LINE IN、USB入出力端子へ出力されます。

- ⑫ ボタンを押すと、ノイズゲート効果のオン/オフが切り替わります。DENOISEを有効にすると環境ノイズを低減します。

- ⑬ Bluetooth LED発光部 Bluetoothがオンになっていると他のライティングパターンと独立したパターンでランプが点灯します。Bluetoothがオフの時は設定したライティングパターンに連動してランプが点灯します。

7

インターフェース詳細



- ① TYPE-C: PC、スマートフォン、PS5のUSB接続に対応しています。
- ② 3.5mm LINE IN: PC、スマートフォン、音楽プレイヤーのアナログ信号の入力に対応しています。
- ③ 3.5mm LINE OUT: スピーカー、ヘッドホンの出力に対応しています。
- ④ 3.5mm HEADPHONE: ヘッドホンの出力に対応しています。
- ⑤ 3.5mm HEADSET: ヘッドセットの入出力に対応しています。
- ⑥ INST/MICスイッチ: XLR/6.35mm端子の入力モードを切替えます。楽器を接続する場合はINST、マイクを接続する場合はMICにそれぞれスイッチを切替えてください。
- ⑦ XLR/6.35mm: マイク、コンデンサーマイク、楽器の入力に対応しています。

8

製品仕様

動作電圧：5V 動作電流 <300mA ゲインレンジ 0-50dB サンプリングレート 44.1/48kHz ビットレート 16 ビット 周波数特性 20Hz～20kHz ダイナミックレンジ マイク入力：111dB ライン入力：110.5dB インストゥルメント入力：110dB ライン出力：108.5dB イヤホン：104dB	出力レベル ライン：+15.5dB、バランス イヤホン：7dB インピーダンス マイク入力 3kΩ ライン入力：60kΩ インストゥルメント入力：1.5MΩ ライン出力 430Ω イヤホン出力：32Ω 寸法：L:17cm D:13.5cm H:4cm(最大5.5cm) 本体重量：355g 対応 OS：Windows11,10, AndroidOS,iOS 入力レベル マイク：+9dB ライン：+22dB インストゥルメント：+12.5dB
---	--

◇操作説明及び使用例

電源を入れる

M-SMIX1 はバスパワー対応のオーディオミキサーです。AC 電源不要でご使用いただけます。電源ボタンは搭載しておらずケーブルを接続しバスパワー給電を行い使用します。

- ① 電源を入れる前にフェーダーのボリュームが最小になっている事を確認し各機器を接続します。
- ② スマートフォンまたは PC と M-SMIX1 を USB 接続すると M-SMIX1 の電源がオンになります。

※スマートフォン接続時はバッテリー残量にご注意ください。充電をしながら使用する場合はワイヤレス充電や分岐アダプタを別途ご用意ください。

9

電源を切る

電源を切る場合はフェーダーやノブのボリュームを最小にして USB ケーブルを抜いてください。
機材への負荷を考慮する場合は以下の順番で電源をオフにしてください。
スピーカー 及び 楽器類 → M-SMIX1 → PC

Bluetoothで端末とミキサーを接続する

スマートフォンでの接続を例に Bluetooth で端末と M-SMIX1 を接続する方法を説明します。

- ① M-SMIX1 の電源がオンになっている状態で M-SMIX1 の Bluetooth ランプが点灯している事を確認します。(電源投入時のデフォルト設定はオンになっています)
- ② スマートフォンの Bluetooth 設定画面より「M-SMIX1」を選択し接続済みになれば設定完了です。
- ③ MUSIC フェーダーを操作しボリュームコントロールします。**※端末のボリュームが最小の場合は音が出ません。**

※Bluetooth の接続方法は端末により異なります。詳細な接続方法は各メーカーへお問い合わせください。

10

ライブ配信で利用できるボタン操作

- CHANGE VOICE** ボイスチェンジをするときに使用します。
- ELECTRIC** 歌配信などで歌声のキーを合わせる時に使用します。
- CUSTOM A** 録音した音声と呼び出す際に使用します。CUSTOM A ～ CUSTOM D を同時に使用することは出来ません。
※ミキサーに入力された音声を録音する機能のため効果音などの音声ファイルをインストールして呼び出すことは出来ません。
- KARAOKE** BGM のボーカル帯域をカットしてカラオケ配信をする際に使用します。
- VOLUME SHAPER** 発声時に MUSIC のボリュームを自動で下げたい時に使用します。
- DENOISE** 環境音が気になる時に使用します。
マイクや接続機器から発せられるノイズは軽減できません。
- LOOPBACK** 配信ソフトウェアに LOOPBACK 機能がない時や、歌配信などで PC 音を使用した際に遅延が気になる時に使用します。
※LOOPBACK 機能を使用する場合は他のソフトウェアの LOOPBACK 機能及び LOOPBACK に準ずる機能は全てオフにしてください。
※Zoom や Google Meet などの会議アプリではノイズキャンセルの影響により LOOPBACK 機能が正常に動作しない場合があります。
※スマートフォン、PS5 接続時にマイク以外の音声をミックスする場合は必ず LOOPBACK 機能をオンにしてください。

11

Windows® PCで使用する

Windows® PC でライブ配信をする想定で外部から BGM を取り込む用のスマートフォンを LINE IN に接続し、ヘッドセットを HEADSET に接続した状態を例に説明します。

接続

- ① 電源を入れる前にフェーダーのボリュームが最小になっている事を確認しスマートフォンを LINE IN に、ヘッドセットを HEADSET に接続します。
- ② PC と M-SMIX1 を USB ケーブルで接続すると自動で電源が入ります。

PC 設定

- ① 「設定」→「Bluetoothとデバイス」→「デバイス」と進み、オーディオの項目に M-SMIX1 と表示されていれば接続は完了です。
- ② 「設定」→「システム」→「サウンド」と開き、出力デバイス及び入力デバイスを M-SMIX1 に変更するとサウンドの入出力が M-SMIX1 に切り替わります。

音を出して配信する

ここで使用するフェーダーは MIC、MUSIC、HEADPHONE です。HEADSET 端子に接続した場合マイクのボリュームを MIC で調整し、ヘッドホンのボリューム HEADPHONE で調整します。
LINE IN に接続したスマートフォンから BGM を流す場合は MUSIC を調整します。
マイクのエコー量を調節する場合は ECOH ノブを回して調節します。

12

iPhoneとの接続

iPhone でライブ配信をする想定でコンデンサーマイクを XLR 端子に接続しヘッドホンを接続した状態を例に説明します。

接続する

- ① 電源を入れる前にフェーダーのボリュームが最小になっている事を確認します。
- ② 背面の INST/MIC 切り替えスイッチを MIC に切替えコンデンサーマイクを XLR 端子へ接続します。
- ③ ヘッドホンを HEADPHONE 端子に接続します。
- ④ iPhone と M-SMIX1 を USB ケーブルで接続すると自動で電源が入ります。
※Type-C 同士の接続をする場合別途データ通信対応の Type-C USB ケーブルをご用意ください。
- ⑤ 48V ボタンを押してコンデンサーマイクへ電力供給を行い接続は完了です。

iPhone 設定

- ① 初回接続時に「ヘッドフォンを接続しようとしていますか?」とシステムアナウンスが出現します。その場合は「その他のデバイス」を選択してください。
誤ってヘッドフォンを選択した場合は「設定」→「サウンドと触覚」→「ヘッドホンの安全性」→「USB オーディオアクセサリ」→「すべてのオーディオアクセサリを解除」とタップしてください。
「すべての USB オーディオアクセサリを削除」をタップすると再接続時にシステムアナウンスが出現します。

- ② 「その他のデバイス」を選択すると自動で本機を認識し、設定は完了になります。

※Zoom、Google Meet など一部アプリで本機が使用出来ない場合がございます。通話機能、LINE は M-SMIX1 を使用して通話可能ですが、アプリ側のノイズキャンセル機能により音声が入り切れる場合がございます。

13

Android端末との接続

Android 端末でライブ配信をする想定で外部から BGM を取り込む用のスマートフォンを Bluetooth で接続し、マイク付きヘッドセットを接続した状態を例に説明します。

接続する

- ① 電源を入れる前にフェーダーのボリュームが最小になっている事を確認します。
- ② ヘッドセットを HEADSET 端子へ接続します。
- ③ Android 端末を M-SMIX1 を USB ケーブルで接続すると自動で電源が入ります。
※Type-C 同士の接続をする場合別途データ通信対応の Type-C USB ケーブルをご用意ください。
- ④ Android 端末の設定より Bluetooth を選択し、「M-SMIX1」とペアリングを行い設定完了です。

※Bluetooth の接続方法や Android 端末の USB 機器設定方法は端末により異なります。詳細な設定方法は各メーカーへお問い合わせください。

※Zoom、Google Meet など一部アプリで本機が使用出来ない場合がございます。通話機能、LINE は M-SMIX1 を使用して通話可能ですが、アプリ側のノイズキャンセル機能により音声が入り切れる場合がございます。

14

楽器を繋いで録音する

ギターなどの楽器を M-SMIX1 と接続しスマートフォンや PC で録音する場合の接続例を説明します。

接続する

- ① 電源を入れる前にフェーダーのボリュームが最小になっている事を確認します。
- ② 背面の INST/MIC 切り替えスイッチを INST に切替えます。
- ③ 6.35mm 端子にプラグを接続し、ヘッドホンまたはヘッドセット、スピーカーを接続します。
- ④ スマートフォンと M-SMIX1 を USB ケーブルで接続すると自動で電源が入り接続は完了です。
※Type-C ケーブル同士で接続する場合は別途ケーブルをご用意ください。また、データ通信に対応しているケーブルをご使用ください。

録音する

- ① ボイス録音のアプリやマイクとして USB 機器を認識するアプリを使用することでミキサーを通した音声が入力されます。
※録音した音声をスマートフォンで確認する場合は必ず LOOPBACK 機能をオンにしてください。
※使用するアプリによっては M-SMIX1 を認識しない場合があります。

使用するフェーダー及びノブについて
楽器の音声のボリュームコントロールは MIC に対応しています。
Bluetooth または LINE IN 経由で BGM を取り込む場合は MUSIC を操作してください。
楽器を接続している場合、ECOH ノブの機能は使えません。音声にエフェクトをつけたい場合は別途エフェクターやソフトウェア使用してください。

15

PS5®に接続してゲーム配信をする

M-SMIX1 を PS5® に接続してブロードキャスト機能を用いてゲーム配信を行うことができます。

接続する

- ① 電源を入れる前にフェーダーのボリュームが最小になっている事を確認します。
- ② 背面の INST/MIC 切替えスイッチを MIC に切替えます。
- ③ PS5® と M-SMIX1 を付属の USB ケーブルで接続すると自動で電源が入ります。
- ④ 「設定」→「サウンド」→「マイク」→「入力機器」と進み、「USB ヘッドセット (M-SMIX1)」を選択します。
- ④ 「設定」→「サウンド」→「音声出力」→「出力機器」と進み、「USB ヘッドセット (M-SMIX1)」を選択します。
- ⑤ LOOPBACK 機能をオンにして PS5® の音声のみがミキサーに入っていることを確認し設定完了です。

配信する

PS5® のブロードキャスト機能を用いて配信が可能です。(アップデート等により配信方法が変更になる場合があるため配信方法の詳細は PS5® 公式のヘルプページをご確認ください)

マイク音声をヘッドホンに流したい場合は MIC の MUTE ボタンを長押ししてマイクモニターをオンにしてください。

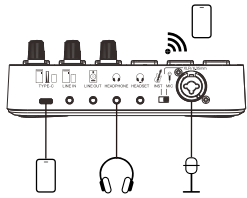
ご注意

上記配信用の設定でボイスチャットを行うとゲーム音を含めた音声相手に発信されます。LOOPBACK 機能をオフにすることでゲーム音以外の音声を発信することが可能ですが、M-SMIX1 からゲーム音声は聴こえなくなります。そのためボイスチャットを行う場合は音声出力を M-SMIX1 以外に切替え、他の機器からヘッドホン、スピーカー出力を行ってください。

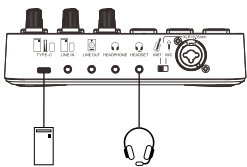
16

シーン別接続イメージ

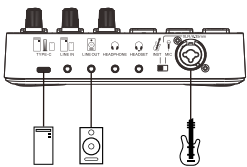
①マイクとヘッドホンを有線接続し、サブのスマートフォンを Bluetooth 接続して BGM を再生しながらメインのスマートフォンでライブ配信をする場合の接続例



② PC とヘッドセットを接続してライブ配信をする場合の接続例



③ PC、スピーカー、ギターを接続して音声をスピーカーに出力しながら PC に録音する場合の接続例



17

フェーダー ノブ対応一覧表

端子種類	XLR 6.35mm	HEADSET	HEADPHONE	LINE OUT	LINE IN	TYPE-C	Bluetooth	CUSTOM
MIC	●	● マイクのみ対応						
MUSIC					●	●	●	
HEADPHONE		● ヘッドホンのみ対応	●					
ECOH	● MUTE 対応	●						
GAIN								●
LINE OUT				●				

18

トラブルシューティング

Q. PC やスマートフォンに接続しても認識しない。
A. 付属品以外のケーブルを使用している場合、ケーブルがデータ通信に対応しているかご確認ください。充電専用のケーブルを接続しても認識されません。

Q. 音が出ない。
A. 対応するフェーダーやノブのボリュームが最小になっていないかご確認ください。また、ミュートがオンになっている、マイクモニターがオフになっている、LOOPBACK 機能がオフになっているなどあわせてご確認ください。Bluetooth 出力の場合は接続している端末側のボリュームをご確認ください。

Q. XLR/6.35mm 端子に接続した楽器やマイクの音が小さい / 大きい
A. INST/ マイク切替えスイッチが正しい位置にセットされているかご確認ください。

Q. 電源が切れない
A. 電源ボタンはありませんので USB ケーブルを抜いてください。電源の切り方は 10 ページ「電源を切る」項目をご確認ください

Q. ヘッドセットはマイクとヘッドホンの機能を同時に使えますか？
A. 使えます。マイクとヘッドホンのボリュームコントロールはそれぞれ MIC、MUSIC に対応しています。

Q. ヘッドセットのマイクと XLR/6.35mm端子に接続したマイクの同時入力は可能ですか？
A. 可能ですが個別のボリュームコントロールはできません。

19

Q. KARAOKE ボタンを押してもボーカルがカットされない。
A. 特定の帯域をカットする機能のため、曲によってはほとんど効果が無い場合があります。

Q. マイクを使用していると BGM の音声が下がってしまう。
A. VOLUME SHAPER 機能がオンになっている場合はオフにしてください。

Q. DENOISE ボタンを押してもノイズが軽減されない。
A. 環境ノイズを低減する機能です。周囲が静かすぎる場合など逆にホワイトノイズのような音を感じる場合があります。また、マイクや接続機器から発生するノイズには効果がありません。

Q. マイク音声のボイスエフェクトが直らない。
A. CHANGE VOICE または ELECTRIC のボタンを長押しして解除するか本体の再起動をお試しください。

Q. Bluetooth に接続した端末にミックスした音声やマイクの音声を入力することは出来ますか。
A. 出来ません。Bluetooth 機能は音声のみがミキサーへの入力のみ対応しています。

※本製品は初期不良以外の返品はいたしかねます。
※製造ロットにより操作方法が異なる場合があります。その場合は説明書を弊社HP上の製品ページで更新しています。また、よくある質問をホームページ内で更新している場合がございます。あわせてご確認ください。

20

故障かなと思ったら

設定、使い方により症状が改善される場合がございます。まずはもう一度取扱説明書、トラブルシューティングの欄をよくお読みください。

●修理を依頼される場合

修理のご依頼はご購入店へご相談ください。通信販売の場合でも、販売会社へお問い合わせください。事情によりご購入店へ修理依頼ができない場合は弊社修理窓口にて修理を承ります。

・弊社へ直接修理依頼を行う場合

修理依頼方法はパソコン、スマートフォンから以下のページをご覧ください。
<https://www.nagaoka.co.jp/support/>

修理依頼品を発送される際は、必ず弊社へお電話またはお問い合わせフォームから受付をしていただきますようお願いいたします。受付のない状態での修理品の発送はトラブル防止のため、ご遠慮ください。製品の異常がお客様のお手元で改善する可能性がありますので、発送前受付の際に確認をさせていただいております。万が一受付のない状態で商品を発送し、弊社で「製品異常なし」の判断となった場合、保証期間内であっても一律の往復送料をお支払いいただく場合がございますのでご了承ください。

電話番号：03-3479-9939 (受付時間 9:00 ～ 17:30 土日祝日除く)
お問い合わせフォーム：
<https://www.nagaoka.co.jp/support/inquiry.html>

21

商標について

「PS5」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標、登録商標です。
iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

「Android」、「Google Meet」は、Google LLC の商標です。「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc. USA の商標または登録商標です。

「Windows」「Windows10」「Windows11」は、Microsoft Corporation の、商標または登録商標です。

「LINE」は、LINE 株式会社の商標または登録商標です。

「Zoom」は、Zoom Video Communications, Inc. の商標または登録商標です。

※BGM を配信に載せる場合の著作権には十分にご注意ください。ただいたうえ本機をご使用ください。各配信サービスや権利元のガイドライン、利用許諾に則ったご利用をお願いいたします。

22